

広報ひだ

3月
2026年 No.266



特集

飛騨市学園構想が新たなステージへ

プロ特集

花を介して人と人、地域と人をつなぐ。プロフェッショナルなお花屋さん

プロ特集

市民生活を支える



花を介して人と人、地域と人をつなぐ。 プロフェッショナルなお花屋さん

あ、そろそろ新しいお花に替えなきゃ。花を飾ることはいつしか習慣になりがちですが、玄関を出て、まちを歩く時間を、ほんのちょっと幸福で温かいものにしてくれる存在があります。

それが、お花屋さんです。有限会社いたばし生花店の3代目代表を務める板橋茂穂さん(写真右)、店舗運営をリードする宇津宮里枝さん(写真左)ご姉弟に、地域に根ざしたお花屋さんのあり方を聞きました。

寄り添いが生む「花」以上の価値

——私の家族がよく利用していて、男性も入りやすいと聞いています。



板橋さん

ありがとうございます。父から代表を継いで8年目になりますが、就任当初、地域に根ざした花屋としてどうありたいか、姉をはじめとした従業員と話し合いました。花を選ぶための場所ではなく、地域の方にとって「人」に会うために訪れたい場所になりたい。その考えを共有し、生来コミュニケーションが得意な姉を中心に、自発的に寄り添う雰囲気が築かれていきました。



板橋さん

例えば、常連さんが店の前を通りかかれば「〇〇さん、あれ(お供えの花束)やろ？」と自然に声かけできるのが姉の持ち味です。



宇津宮さん

得意と思ったことはなく……無意識ですね。花屋の娘として生まれ、小さい頃から母を手伝うなかでお客さんに触れてきたこともあり、自然と身についたのかもしれない。今、弟に言われて気が付きました(笑)。

——地域の方にとって、足を運ぶと温かく迎えてもらえる憩いの場なんですね。お花選びの手助けで意識されていることは何ですか？



板橋さん

贈る相手に想いを寄せることです。お供えの花束を例に挙げると、生前みかんが好きだったおばあちゃんへの贈り物であれば、みかん色のお花を。花を供える一瞬が、大切な人を思い出す時間になればと思っています。



宇津宮さん

お祝い事でも、贈る側が優しい気持ちに、贈られる側が嬉しい気持ちになれるように。形だけの贈り物でなく、両方の「心」に彩りを添えられるようにお手伝いしています。

「贈る」想いのかけらを、地域の力に

——贈り物といえば、母の日が思い浮かびます。昨年5月には、ギフトの売上の1割を地域の子育て支援団体に寄付されたとか。きっかけは何だったのでしょうか？



板橋さん

近年の物価高騰で、特に地域のひとり親家庭が困窮していることを知り「何かしたい」という思いが自然と芽生えました。経営者として、売上を削る判断が従業員に受け入れられるか不安だったのですが……。



宇津宮さん

私自身、子どもを育てる母ですが、その発想はありませんでした。だから、弟が先に地域の困りごとに目を向け、提案してくれたことに感謝していますし、誇らしく思いました。

飛騨トマトから得た、染め花の着想

——板橋さんを中心に新たな挑戦に向き合われているのですね。いたばしを彩る「染め花」を始めたのも3代目からと伺っています。



板橋さん

本格的に始めたのは3年ほど前ですね。方法はさまざまですが、いたばしではお花に色水を吸わせて新たな表情を生み出しています。

——思い通りに発色するものですか？



板橋さん

なかなか思い通りにはいかなかったのですが、あるとき、飛騨トマトの甘さの秘密が寒暖差にあると知り、それを染め花に応用してみたんです。お花を業務用の冷蔵庫で冷やした後、30度の温室に移して色水につけると、花が一気に水を吸い、イメージ通りに発色しやすくなることに気が付きました。



宇津宮さんは大のランタンキュラス好きで、この花にちなんだ名前をお子さんにつけるほど。



キラキラして見えても、実は過酷な花屋の仕事。冬は寒く、霜焼けや赤切れに悩まされるそう。「好きじゃないと続けられない」と話す宇津宮さん。

——つい真似してみたくになりますが、私のような素人でもうまくいくものでしょうか？



板橋さん

ぜひ、挑戦してみてください。うまくいなくても、いいんです。たとえ不格好でも、一生懸命に作った卵焼きって、どこか心に沁みますよね。いたばしのカラーに私たちだけの大切な想いや経験がつまっているのと同じように、想いを込めて手がけたお花には、その人にしかない「幸せ」の色が宿ります。お花そのもの以上に大切なのは、**花に触れた人が幸せな気持ちになれるか**。その感覚を分かち合えたら、私たちも幸せです。

毎年3月には、いたばしを中心に、地域の飲食店などを巻き込んだ「ミモザまつり」が開催されます。(※発行時には終了)

「まちを散策し、魅力を知ってもらいたい」と語るご姉弟の目には、地域への愛情と情熱が宿っていました。いたばしの花が、人の「心」をつなぎ、地域をつないでいきます。



市民ライター
三代知香



「飛騨市学園構想—これまでとこれから—」の策定に関わっていただいたコアメンバーの皆さん

飛騨市学園構想ってなに？

飛騨市学園構想とは、予測困難な時代を生きる子どもたちに「自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手」となる力を育んでもらおうと、市教育委員会が進めている「地域教育魅力化プロジェクト」です。2019年から取り組みをはじめ、今年で7年目を迎えました。

何をめざしているの？

第1章(2020年4月～2023年3月)では、教育や人づくりに関する市の方向性やその実現に向けた方策を検討し、「飛騨市学園ビジョン」を定めて「育成したい資質・能力」を明確化し、プロジェクトを進めました。

第2章(2023年4月～2026年3月)では、変化の激しい社会を前向きに切り拓くため、さまざまな出来事に「面白がって」挑戦していくことを中心に据え、「目指す未来の創り手像」が育つための「創りたい地域像」をまとめ、学校ごとに特色ある取り組みを進めてきました。

どんな変化があったの？

全国学力・学習状況調査で、令和4年度と6年度を比較すると、児童生徒の意識に大きな変化が見られました。「地域や社会をより良くするため何かしたい」「自分には良いところがある」と回答した地域貢献への関心や自己肯定感のある児童の割合が上昇し、全国平均を大きく上回っています。

■地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思いますか？

令和4年度 小学校14.8%、中学校11.5%



令和6年度 小学校**40.1%**(全国36.8%)
中学校**43.9%**(全国26.4%)

■自分には、よいところがあると思いますか？

令和4年度 小学校27.5%、中学校50.3%



令和6年度 小学校**52.2%**(全国43.4%)
中学校**52.9%**(全国40.4%)

R4～6年度の全国学力・学習状況調査の結果より

飛騨市学園構想の 取り組みに向けて 皆さんから寄せられた 主なご意見

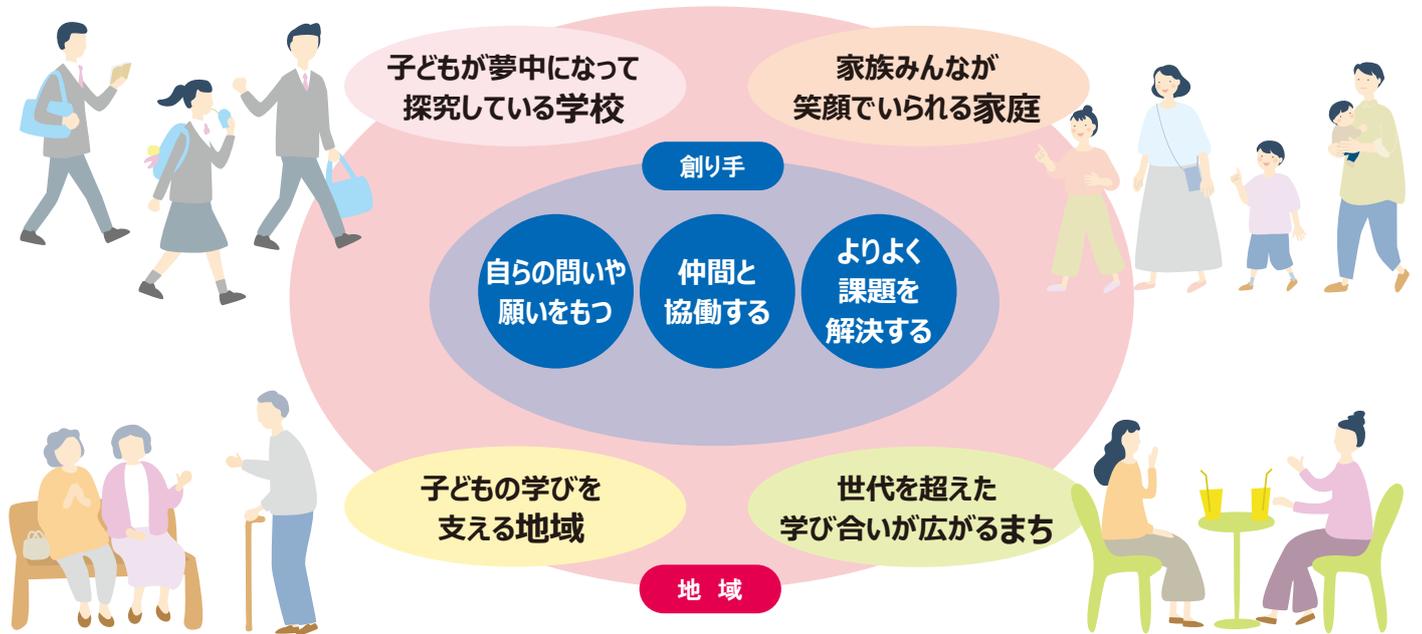
- 学びが自分や社会とどうつながるかを主体的に実感することが大切
- 自分の好きなこと、興味があることでつながる仲間に出会える場があることは素敵だと思う。世代を超えたコミュニティが小さくても、多種多様だと探す楽しさがある
- 意欲をもって学習してほしい。自ら考え実行する力をつけてほしい。楽しんで学校にいてほしい。地域の良さを知ってほしい
- 学びは学校の中だけではなく、地域の中でさまざまな人と関わる中で広め、深めていくことが子どもたちのみならず地域の人々にとってもよいことだと思う

そして、新たなステージへ 飛騨市学園構想 —これまでとこれから—

目指す未来の創り手像

志を語り合いしなやかに挑み続ける 飛騨びと

志を語り合い、しなやかに挑み続ける人が、未来の民主的で持続可能な社会を創る。
これからの市の発展に貢献する「人づくり」に向けて、子どもたちの成長に3つの願いを込めました。



創りたい地域像

みんなで育て みんなが育つ 魅力あるまち

みんなで育て、みんなが育つまちで学び続けてこそ、子どもたちは未来の創り手になることができる。
こうした地域の姿を「学校」「家庭」「地域」「まち」の4つの領域に分けて考えました。



ほりた しおり
堀田 菜里さん
(神岡中学校3年生)

取組みでの学びが、将来の選択肢を広げてくれました

1年生「飛騨市探Q」では飛騨の自然、2年生「企業クエスト」では老田屋さんのパッケージやPOP製作をしました。

3年生「未来探Q」では飛騨の良さを広めようと葉草キーホルダーの制作や販売を行いました。買い手の気持ちを想像し、見えない所で細かな工夫を凝らす大切さを学びました。普段の生活では得られない「相手に喜んでもらうための視点」を身につけることができました。苦労もありましたが、少しずつ出来上がっていく過程が楽しかったです。

企業クエストで学んだ「美味しそうに見える色」などのデザインの知識は、将来の選択肢を広げてくれました。また、接客を通じて学んだ「明るい挨拶」や「笑顔」の大切さを、今後の生活でも大切にしていきたいです。



まつもと さとえ
松本 里江さん
(中学生保護者)

地域の皆さんに育てられ感謝の気持ちでいっぱい

飛騨市ゼロカーボンガイドの作成に携わることで、息子は身近なごみの分別の大切さが分かったようで、年末の大掃除でも率先して紙やプラスチック、段ボールの分別の戦力になってくれました。

また、飛騨ジュニアウインドオーケストラでの活動では、仲間とともに努力してより良い演奏をする感動を得られました。顧問の先生への尊敬、地域の方々や仲間への感謝の気持ちを家庭でも言葉にしています。

どちらの取組みでも、たくさんの方々のお知恵とご支援をいただき、皆さんに育てていただいていると感謝の気持ちでいっぱい。元気に生き生きと仲間と成長している姿を見て感動しています。私自身も地域のためにできることを考え、行動したいです。



野村 俊巳さん
(河合小地域学校協働活動推進員)

「子どもだって何かできる」を支える地域や大人になりたい

河合小学校運営協議会や地域学校協働本部「ここあ」の立ち上げに参加しました。「ここあ」の学校活動部では本物体験や企業による社会科学習など、地域活動部では「河合っ子マルシェ」「小農塾」「ここあ運動教室」を企画、実施しました。

少子化が進む中で、「子どもだって何かできる」という思いで始めた「河合っ子マルシェ」では、河合のよさを発信することや自分で考えて自分で動くこと、さらには相手(お客様)を意識した関わり方、自分のよさへの気づきを感じられるようになりました。

子どもたちは、河合っ子マルシェで「自分たちの力だけではどうしようもできない」ことに直面したときに「大人の力を借りよう」「地域の人に相談してみよう」という体験をし、大人や地域の人との結びつきを作るきっかけになったと思います。

「どう大人や地域と関わるか」はこれからの社会をつくっていく大切な力です。「子どもでも何かできる」という思いが「頼れる面白い大人がいる」「ありのままの自分を受け入れてくれる地域がある」という環境の中で膨らんでいくと思います。そんなすてきな地域になることを期待しています。



山本 祐也さん
(山之村小中学校教員)

他者と関わりながら課題を乗り越える喜びを味わって

『自分らしさ』×『山之村らしさ』×『伝える相手』をテーマに『山っこプロジェクト』を進めました。

全校児童生徒10人がそれぞれ各教科の学びを活かし、地域の方々の力を借りながら展開。特に、学校にあるピザ窯を十数年ぶりに復活させて焼いた『究極の山之村ピッツァ』はすぐれた取組みで、多くの方に喜んでいただけました。

児童生徒たちは「山之村の良さを多くの人に知ってもらい、来てほしい」という共通の願いのもと、自己課題を設定し、一から計画を立て、試行錯誤しながらカタチにしました。その姿からは、生き生きとしたエネルギーの高まりが感じられました。

地域の方々からほめられたり感謝されたりした経験は、児童生徒の自信となり、「自分も地域の役に立てている」という自己有用感の高まりにもつながったと感じています。

こうした変化が起きたのは、子どもたちの願いを肯定的に受け止め、快く協力してくださった地域の皆さんや地域学校協働本部の方々のおかげです。まさに『みんなで育てみんなが育つ魅力あるまち』だと感じます。

子どもたちには成功体験を積み重ねることで「自分も地域や社会の担い手の一人だ」という感覚を味わってほしいです。困難や失敗を経験しながらも、他者と関わりながら課題を乗り越える喜びも味わってほしいですね。

飛騨市学園構想は、どなたでも気軽に関われます

知る

飛騨市学園構想—これまでとこれから—のリーフレットを作成しました。市役所や各振興事務所、地域のコミュニティセンターや図書館などで配布しています。また、市ホームページでも公開しています。

まずは、これまでに子どもたちや地域の皆さんが取り組んできた事例やその成果、今後めざす方向性について理解を深めるところから始めませんか。



見る

各小中学校では、児童生徒がそれぞれ関わってきた取組みの中間発表や成果発表をする機会を毎年設けています。

また、子どもや各種団体が一堂に会して取組みを発表する「探究フェス」などのイベントも開催されます。

各戸に配布されるチラシや市ホームページでイベント情報をチェックして実際に足を運んでみてください。

子どもたちの元気で生き生きとした発表を見て聞いていただくだけでも、飛騨市学園構想の魅力をも十分に感じていただけます。

行動

子どもたちの活動をサポートする取組みを行っているさまざまな団体が地域にはあります。登下校の見守りを行う「古小サポーター」「コミスクふるにしサポーターズクラブ」の皆さん、部活動の地域移行にともなって活躍の場が広がった地域クラブの指導者の方々など、自分の得意分野や興味のある分野のサポートを、自分のペースで関わられる場もいろんな形で用意されています。

また、地域でご自身の探究活動を始めることも可能です。わくわくしながら学びを深める飛騨市民カレッジも、飛騨市学園構想の大切な取組みの1つです。

問 学校教育課 ☎0577-73-7494

4・5・6月分の水道基本料金減免 (飛騨市物価高騰対策)

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている市民や事業者を支援するため、国の重点支援地方交付金活用事業により、水道の基本料金を3カ月間減免します。

■対象者

市の水道事業と給水契約している市民や事業者
市へ水道料金を直接支払っている方
※アパートなどの集合住宅にお住まいの方で、水道料金を直接市にお支払いいただいていない場合は、建物の管理者や管理組合などにご確認ください

■手続き

減免の手続きは必要ありません。

■減免期間

請求月 令和8年4・5・6月(検針1カ月後)
対象の検針 令和8年3・4・5月(各月20日前後)

■減免となる口径別基本料金額(月/税込)

13・20mm 1,100円、25mm 1,573円、30mm 2,684円、
40mm 2,992円、50mm 6,952円、75mm 10,956円

※令和8年度当初予算が議決された場合に実施

問 水道課 ☎0577-73-7484

令和7年中に固定資産の名義人・共有者を変更された方は手続きが必要です

固定資産税を口座振替で納税されている方で、令和7年中に以下の変更があった場合は、これまでの口座振替登録が引き継がれません。そのため、変更後の名義等であらためて口座振替の手続きが必要となります。

- ①相続・贈与等で土地等の登記名義に変更があった場合
- ②共有者の変更があった場合
- ③共有者の持ち分に変更があった場合

■手続き

「口座振替依頼書」をご希望の金融機関窓口へご提出ください。
※手続きには通帳の届出印が必要です
単独所有分(例：飛騨太郎)と共有分(例：飛騨太郎外〇名)の両方の口座振替を希望される場合は、それぞれ口座振替の登録を行う必要があります。

問 税務課 ☎0577-73-3742

指定ごみ袋無料引換券配布 (飛騨市物価高騰対策)

物価高騰の影響を受ける市民の暮らしを支援するため、国の重点支援地方交付金活用事業により、指定ごみ袋の無料配布を行います。

■交付の内容

指定ごみ袋無料引換券を市民1人につき4枚配布し、下記①～⑤の種類の中から、引換券1枚につきいずれか一つ、自由な組み合わせで合計4つを選択できます。

- ①可燃ごみ(大) 1セット(10枚入り)
- ②可燃ごみ(小) 1セット(20枚入り)
- ③可燃ごみ(極小) 2セット(20枚入り×2)
- ④プラスチック類 5セット(10枚入り×5)
- ⑤紙類 5セット(10枚入り×5)

■引換期間 4月1日(水)～令和9年1月31日(日)

■申請方法

申請不要。3月中旬頃に、全世帯へ引換券を送付します。対象店舗は、引換券に同封するチラシにてご確認ください。

問 環境課 ☎0577-73-7482

窓口延長のお知らせ(事前予約制)

転勤や進学などが多い年度始めにあわせ、窓口を延長します。利用には前日までの予約が必要です。申込はフォームまたは市民保険課、各振興事務所までお問い合わせください。

■延長期間

3月30日(月)～4月3日(金) 18:00まで窓口を延長

■場所

飛騨市役所市民保険課市民係、各振興事務所市民係

■取扱事務

転入・転出・転居届、住民票・戸籍謄抄本の交付、印鑑登録と証明書交付、戸籍関係届(後日改めて来庁していただく場合があります)、マイナンバーカードの申請・交付等

※パスポート、税証明に関するお手続きはお取り扱いできません

問 市民保険課 ☎0577-73-7464

河合振興事務所 ☎0577-65-2380

宮川振興事務所 ☎0577-63-2311

神岡振興事務所 ☎0578-82-2252



申込フォーム

公開型GISサービス「ひだマップ」の提供を開始します

インターネットを利用した、公開型GISサービス「ひだマップ」の提供を開始します。

■GIS（地理情報システム）とは

位置に関するさまざまな情報を持ったデータの加工・管理や、地図の作成や高度な分析などを行うシステム技術の総称です。飛騨市では、地番現況図や航空写真、山林地番図を公開します。

※地番現況図とは、法務局で備え付けられている公図などをもとに、土地のおおよその形状や場所を表した図面

これまで、地番現況図や航空写真の閲覧や写しを取得するためには市役所窓口へお越しいただく必要がありましたが、市ホームページからアクセスすることで、24時間いつでも地番現況図等を閲覧および印刷することが可能です。利用者の利便性を大幅に向上することができます。なお、公開後も市役所窓口での閲覧、交付は可能です。

■イメージ



航空写真



地番現況図



■公開予定時期

3月下旬

■土地公図の閲覧及び写しの交付の廃止

市ではこれまで法務局で備え付けられている公図と同様の図面を窓口で発行してきましたが、毎年1回の更新のため、常に最新の状態ではないことが課題になっていました。他方、法務局では常に最新の公図が入手できるほか、インターネットで登記情報や公図などの地図情報を取得することができる登記情報提供サービスがあることから、市では令和8年4月より土地公図の閲覧および写しの交付を廃止します。

問 税務課

TEL 0577-73-3742

林業振興課

TEL 0577-62-8905



詳細ページ

令和8年度 乳幼児学級生を募集

市では家庭教育の充実を図るため、乳幼児（現在0～2歳児）とその保護者を対象とした乳幼児学級を開催しています。「子育てについて考える」「親と子のふれあい」「子育ての仲間づくり」を目的に、地域ごとに学級を設け、親と子の育ちを応援します。ぜひご参加ください。

- 対象 令和5年4月2日から令和8年4月1日の期間に生まれた乳幼児とその保護者
※対象者には別途案内を送付します
- 開催期間 各学級とも5月～翌年3月
毎月1回程度（計10回）9:30～11:30
※状況により変更となる場合があります
※各学級の人数によっては合同学級となることがあります
- 申込期間 4月1日（水）～4月20日（月）
- 年会費 1,000円（1学級・子ども1人とその保護者につき）

古川乳幼児学級

- 【場所】 ハートピア古川
- ★はいはい学級（0～1歳クラス）
- ★すくすく学級（1～2歳クラス）
- ★のびのび学級（2～3歳クラス）

神岡乳幼児学級

- 【場所】 神岡子育て支援センター
- ★てとてKIDS
（0～3歳の合同学級です）



問 子育て応援課 ☎0577-73-2458

子育てサポーターを募集します

市内子育て支援センターでの乳幼児学級や行事で、学級のお手伝いや片付け、託児などをお願いできる方を募集します。複数のサポーターと活動します。

- 期間 5月～翌3月の月1回～3回程度
（乳幼児学級の場合9:15～11:30頃）
- 場所 古川子育て支援センター
河合・宮川子育て支援センター
神岡子育て支援センター
- 内容
 - ・乳幼児学級でのサポートや後片付け
 - ・乳幼児学級や行事での託児など
- 申込方法
子育て応援課窓口



※ご希望の場所で行っていただきます
※謝礼があります（1,000円/回）

問申 子育て応援課 ☎0577-73-2458

ファミリー・サポート・センターのサポート会員を募集します

市では一時託児を「スマイルキッズ」に委託しており、現在、サポート会員（有償ボランティア）を募集中です。

- 活動内容・サポート体制
 - ・市内子育て支援センター等で生後1ヵ月から小学校中学年までのお子さんを託児
 - ・研修あり。アドバイザーや先輩会員との活動で未経験でも安心
 - ・市が保険に加入
- 申込方法
飛騨市ファミリーサポートセンター・スマイルキッズへ電話

問申 飛騨市ファミリーサポートセンター
スマイルキッズ
☎080-1560-4218

弁護士・税理士・司法書士による無料相談会

不動産・相続・離婚・税金・交通事故・労働問題等の相談を受け付けます。

■日時

4月11日(土) 9:00～12:00

■場所

古川町コミュニティセンター(総合会館) 受付: 2階

■申込方法

事前に電話で予約が必要です(先着6名)

■予約受付

4月6日(月)から開始
予約受付時間は9:00～12:00、
13:00～15:00
※弁護士による「なんでも法律相談」先着6名まで

問申 岐阜県労働者福祉協議会
飛騨支部

☎0577-57-7211

手話奉仕員養成講座 (入門・基礎) 受講者募集

手話奉仕員養成講座を開催します。希望する方はお問い合わせください。

■開催日

5月11日～12月7日 全26回
毎週月曜日 13:00～15:30

■会場

ハートピア古川

■対象者・定員

市内在住・在勤で高校生以上の方
定員10人

■費用

・受講料無料
・テキスト代 4,290円(税込)
(実技3,300円+講義990円)

■申込方法

フォームまたは電話

■締切

4月13日(月)

問申 総合福祉課

☎0577-73-7483



申込フォーム

認知症サポーター ステップアップ講座

認知症や認知症の人に対する支援について、深く学んでみませんか?(参加無料)

■日時

3月24日(火) 13:30～15:00

■場所

飛騨市図書館2階 にじのひろば

■講師

工藤佳子氏(オレンジ相談のないる相談員)

■内容

・認知症に関する知識
・認知症サポーターの活動紹介等

■持ち物

筆記用具、水分補給の飲み物

■申込方法

フォームまたは電話

■締切 3月23日(月) 正午まで

問申 地域包括支援センター

☎0577-73-6233



申込フォーム

家庭用野菜を育ててみませんか? 市民農園利用者募集

市では、土に親しみ花や野菜の栽培を楽しみたいという市民の皆さん向けに畑をお貸ししています。4月からの利用希望者を募集します。なお、申込多数の場合は後日抽選を行います。

■所在地

古川町上町(増島保育園付近)

■利用料

年間3,000円/1区画(約50㎡)

■注意事項

- ①栽培に必要な、農機具・種苗・肥料等は、すべて借主負担となります
- ②販売のための農作物を栽培することはできません
- ③定期的な草刈り、植物の残渣処理など管理が可能な方

■申込方法

電話にて

問申 農業振興課 ☎0577-73-7466

令和8年度飛騨市やさしいまちづくり応援事業を募集

市では、子どもから高齢者まですべての市民があんきに暮らせる、やさしいまちづくりに対する活動を応援します。(弱い立場の方を支援する福祉事業)

■事業実施期間

令和8年4月1日～令和9年3月31日の間に行う事業(例:高齢者や障がい児者を支援する活動事業)

■募集期間

3月2日(月)～9月30日(水)

※随時受付

■応募方法

市ホームページに掲載の募集要項を確認の上、必要書類を総合福祉課まで提出してください。

問申 総合福祉課 ☎0577-73-7483



詳細ページ

薬草サロン「ひだ森カフェ」

薬草について気軽に語り、学びあえる場として、予約不要で参加できる薬草サロンを毎月開催しています。初心者も経験者も関係なく、季節の薬草茶や体験を楽しみながら、暮らしに役立つ知恵を分かちあう、ゆるいおしゃべり会です。お気軽にご参加ください。

■会場

薬草体験施設 ひだ森のめぐみ 2階
※内容によっては別会場で開催する場合があります

■時間

10:30 ~ 12:00 / 13:00 ~ 15:00

■参加費

500円(材料費)

■テーマ、スケジュール

4月25日(土) 芽吹きを食べる。下処理と活用。
5月16日(土) ヨモギを知る。草餅以外の楽しみ方。
6月20日(土) 保存する知恵。梅仕事。

■今後の予定

薬草ドリンクを作ってみよう(7月)、薬草でシャンプーを作ってみる(8月)、秋の薬草の見分け方(9月)
※最新情報は市ホームページ、SNSで随時発信します



問 まちづくり観光課 ☎0577-73-7463

2026年度前期「飛騨市民カレッジ」受講生募集!!

2026年度前期飛騨市民カレッジの受講生を募集中です。「学びに卒業なんてない!」を合言葉に楽しくみんなで学びましょう! 冊子は下記場所で受け取ることができます。3月10日(火)の朝刊折込にて配布済みですのでご覧ください。

■冊子設置場所

古川町・神岡町コミュニティセンター、河合・宮川振興事務所、
飛騨市図書館、神岡町図書館
飛騨市役所(総合案内窓口・教育委員会窓口)

■講座開講期間

4月~9月

■申込期限

4月5日(日)

■申込方法

冊子の申込書または市ホームページから
専用フォームより申し込みできます



飛騨市民カレッジ
Hida Citizens College



詳細ページ

問 生涯学習課 ☎0577-73-7495

春から営業を再開する文化施設のご案内

市内の文化施設が4月から営業を再開します。
ぜひご家族やご友人と訪れ、文化や歴史に触れるひとときをお楽しみください。

■ 史跡江馬氏館跡公園

営業開始日：4月1日(水)
営業時間：10:00～16:00(入館は15:30まで)
休館日：無休(12月から3月は休館)
入館料：大人200円、高校生以下無料



史跡江馬氏館跡公園



高原郷土館

■ 高原郷土館

営業開始日：4月1日(水)
営業時間：9:00～16:30(入館は16:15まで)
休館日：無休(12月から3月は休館)
入館料：大人200円、高校生以下無料



■ 飛騨みやがわ考古民俗館

営業開始日：4月25日(土)
営業時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日：不定休(市ホームページをご確認ください)
入館料：無料

飛騨みやがわ考古民俗館

※詳しい情報は市ホームページをご覧ください
か、文化振興課までお問い合わせください



詳細ページ

問 文化振興課 ☎0577-73-7496

飛騨市広報ひだ特派員（市民ライター）募集

広報ひだやウェブサイト・SNSに掲載される市内のイベント等を取材し、写真撮影や記事作成を行う神岡町在住の市民ライターを募集します。

■ 活動内容

市からの依頼により取材し、撮影した写真や作成した記事のデータを電子データで市に提供
※取材は平日・土日問わず月に5回程度

■ 対象者

神岡町在住で市の魅力や情報を発信する意欲があり、写真撮影に係るデジタルカメラ等を自ら用意できる個人または団体

■ 謝礼

取材1回につき3,640円(所得税の源泉前)
交通費は自宅から取材先まで2km以上の場合別途支給



詳細ページ

問 総合政策課 ☎0577-62-8880

市ホームページのイベントカレンダーをご活用ください

市ホームページでは市が開催するイベントの一覧をご覧いただけます。これから春になりイベントが増える季節となりますので、ぜひご活用ください。



複数期間開催や申込期限間近のイベントをご覧いただけます。また、キーワードなどで検索ができる機能もあります。



詳細ページ

問 総合政策課 ☎0577-62-8880

図書館臨時休館

古川祭・神岡祭開催のため、以下の通り休館します。

ご理解・ご協力をお願いします。

■休館日

- 4月19日(日) 飛騨市図書館
- 4月25日(土) 神岡図書館



問 飛騨市図書館 ☎ 0577-73-5600
神岡図書館 ☎ 0578-82-1764

図書館においてよ 新着図書ピックアップ

大人向けのオススメ



『古代文字を解読していたら、研究に取り憑かれた話』
大城道則、青木真兵、大山祐亮/著 ポプラ社

言語学者、エジプト考古学者、古代地中海史研究者の3人が研究中の出来事やさまざまなエピソードを語り、その面白さと大変さを伝える1冊。

問 飛騨市図書館 ☎ 0577-73-5600 <https://hida-lib.jp>

子ども向けのオススメ



『きぼーる』
キボリノコンノ/作 白泉社

出てくるすべてが木彫りの作品でつくられた絵本。艶や影、質感どれもすべてが木からできていると思えないくらいの精巧さに驚きました。

災害対応給水車購入

市では、地震等の災害や緊急時に大規模な断水が発生した場合に備え、迅速に水道水を供給することができるよう災害対応給水車を配備しました。

配備した給水車は、タンク積載容量2,000リットルで、災害発生時における目標給水量を1人3リットルとした場合、一度に660人分の水道水を運ぶことが可能になります。



問 危機管理課
☎ 0577-62-8902

神岡消防署
新たな消防車を購入

緊急消防援助隊設備整備費補助金を受け消防車を新規購入しました。

この車両は、4月1日から緊急消防援助隊登録車両となり、全国の大規模災害に出動する車両となります。また、当本部初となるホースカーを導入し、長距離のホース延長に対応できる資器材を配備しました。



問 神岡消防署
☎ 0578-82-1119

飛騨警察署からのお知らせ

令和8年度警察官の募集

■受付期間

3月2日(月)～4月3日(金)

■受験資格

- ①警察官AⅡ(大卒)
教養試験方式・SPI方式・情報技術
平成3年4月2日生～
大学を卒業(見込みを含む)した人
- ②警察官B(高卒既卒等)
平成3年4月2日生～
平成20年4月1日生
大学を卒業(見込み)以外の人
令和8年4月1日時点で高等学校に在学していない人

※採用試験案内の詳細はホームページをご確認ください

問 飛騨警察署
☎ 0577-73-0110



詳細ページ

3月は『自殺対策強化月間』

3月は、進学や就職・転職等生活環境の変化が大きく、心身の不調をきたしやすい時期であるため、「自殺対策強化月間」と定められています。自殺は精神保健上の問題だけでなく、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立などの様々な社会的要因が複雑に絡みあい、連鎖しあって起こります。自殺に追い込まれるのは稀なことではなく、誰もが持つ“可能性”です。

周囲の人の変化に気づいたら、温かく声をかけ、話に耳を傾けましょう。
つらい・苦しいと感じたら、一人で悩まず相談してください。

市では、令和8年度こころの相談窓口を次のように設けます。無料ですので予約の上ご相談ください。
なお、下記日程以外でも相談がある時には古川町保健センターにご連絡ください。

こころの健康相談カレンダー（令和8年度版）

相談名	飛騨市 こころの相談室	飛騨保健所 精神保健福祉相談（こころの健康相談）	飛騨保健所 法律とこころの相談会
内容	・精神保健福祉士が対応 ・通院中の方や家族の相談も可能	・精神科医師と保健所保健師が対応 ・現在主治医のない方に限る	・弁護士と臨床心理士が対応
時間	13:30～15:30 予約制・無料	13:30～15:30 予約制・無料	13:00～16:00 予約制・無料 (1人45分程度)
予約先	0577-73-2948 古川町保健センター	0577-33-1111（内線312） 飛騨保健所	0577-33-1111（内線312） 飛騨保健所
場所	ハートピア古川	ハートピア古川	飛騨総合庁舎
4月	2日(木)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 会場は飛騨市以外の地域でも開催しています。 飛騨保健所にお問い合わせください。 </div>	
5月	14日(木)		
6月	4日(木)		
7月	2日(木)		
8月	6日(木)		
9月	3日(木)		
10月	1日(木)		
11月	5日(木)		
12月	3日(木)		
1月	7日(木)		
2月	4日(木)		
3月	4日(木)		



こころといのちの
相談窓口

相談窓口情報を悩み別に検索できるサイトです。
電話でのご相談も受け付けています。

こころの健康相談統一ダイヤル ☎0570-064-556





詳細ページ

問 古川町保健センター ☎0577-73-2948

相談コーナー

相談名・相談内容	実施日	時間	場所	問い合わせ
もの忘れ相談 ・もの忘れや認知症の相談 ・受診や介護の相談など 脳体力測定「コグエボ」 ・タブレットを使用した脳トレ ・生活の工夫をアドバイス カフェ ・認知症カフェ、脳トレカフェなど 認知症サポーター養成講座	【要予約】 【利用無料】 月曜日～ 金曜日	9:00～ 15:00	オレンジの森 古川町新栄町11-5ツタビル2階 (1階にコインランドリー、駐車場あり)	オレンジの森 ☎090-1408-1017(月～金) ※詳細日時はお問い合わせください
	【要予約】 【利用無料】 火曜日・水曜日 金曜日	9:00～ 15:00	オレンジ相談なないろ 神岡町殿789-4 旧工藤医院 (駐車場あり)	オレンジ相談なないろ ☎080-7095-6575(月～金) ※詳細日時はお問い合わせください
こころの相談室【要予約】 (精神保健福祉士によるこころの相談)	4/2(木)	13:30～ 15:30	ハートピア古川	保健センター ☎0577-73-2948
若者就労相談【要予約】 (若者を対象とした就労相談)	4/1(水)、8(水) 15(水)、22(水)	13:00～ 16:00	古川町コミュニティセンター	岐阜県若者サポートステーション ☎0577-35-4772
ビジネスサポート相談【要予約】 (売上拡大、経営改善など経営上の相談)	4/2(木)、3(金) 22(水)、23(木)	10:00～ 17:00	古川町商工会	古川町商工会 ☎0577-73-2624
	インターネットでの相談も対応しています。詳しくは直接お問い合わせください。	13:00～ 17:00	神岡商工会議所	神岡商工会議所 ☎0578-82-1130
ハローワーク出張相談【予約不要】 (職業相談、シルバー人材入会説明)	4/28(火)	11:00～ 15:00	古川町コミュニティセンター	ハローワーク高山 ☎0577-32-1144
	4/13(月)	13:00～ 15:00	神岡商工会議所	ハローワーク高山 ☎0577-32-1144
消費生活相談員による無料相談 (専門の消費生活相談員による消費生活相談)	4/1(水)	10:00～ 15:00	飛騨市役所	総務課 ☎0577-73-7461

相談や脳トレは会場に来場できない方には、相談員が訪問します。予約時に訪問希望と伝えてください。

市営住宅入居者の募集

公募住宅	諏訪田団地A棟	森茂住宅	宮川団地	西忍団地
種類	特公賃	特定	特公賃	公営
募集戸数	(単身用)1戸	(単身用)3戸	(世帯用)1戸	(世帯用)1戸
所在地	古川町杉崎	神岡町森茂	宮川町林	宮川町西忍
構造・規模	R C造5階建	木造2階建	木造2階建	木造2階建
間取り	1DK	1K	2LDK	3LDK
家賃	入居者の所得に応じて決定			
	駐車場使用料、共益費別途	共益費別途	共益費別途	共益費別途

■敷金 家賃の3カ月分 ■申込期間 3月24日(火)～3月31日(火) ■入居予定日 5月1日(金)

※RC造…鉄筋コンクリート造 S造…鉄骨造

- ・入居資格について、所得等の条件がありますので、詳しくはお問い合わせください
- ・申込書は、本人または同居予定者の方が建築住宅課または各振興事務所まで直接ご提出ください

問 建築住宅課 ☎0577-73-0153 (古川・河合・宮川) 神岡振興事務所 建設農林課 基盤係 ☎0578-82-2254 (神岡)

『市民掲示板』をご活用ください

市内における個人やサークル、地域団体等が主催するイベントやメンバー募集、地域の話題等の情報を発信する場として、ホームページ上に『市民掲示板』を開設しています。市ホームページに掲載している利用規約を確認の上、ご活用ください。

問 総合政策課 ☎0577-62-8880



詳細ページ

市政世論調査のご意見に回答します

市では、飛騨市民の意識、興味、関心、満足度などの経年変化を調査し、市政運営の基礎資料とするために、毎年7～8月にかけて市内2,000世帯を無作為抽出し、「市政世論調査」を行っています。

昨年7月に実施した市政世論調査の設問「飛騨市政に対するご意見・ご要望」の項目に寄せられた皆さんのご意見を抜粋し、市の対応状況と合わせてお知らせします。

No	質問や意見	市の回答	担当課・連絡先
1	定期検診の後の要治療のフォローがしつこすぎる。 70才以上は、年令的に結果は悪くなるのはムリもない。どこかで、線を引いてもらいたい。	保健センターでは、健康診断の結果で「要治療」や「要精密検査」となった方に、個別の説明や受診の案内をしています。また、治療中の方には、通院や服薬が継続できているかを保健師が確認し、必要に応じて文書でもご連絡しています。 治療中の方であっても、適切な検査・治療と生活習慣の改善は重要であり、特に70代以上の方は体調の個人差が大きいいため、治療経過や現在の体調、ご意向をお伺いしながら支援を行っています。 ご負担に感じられることもあるかと思いますが、市民の健康と命を守るための活動として、引き続き丁寧な対応を心がけてまいりますので、何卒ご理解とご協力をお願いします。	保健センター 0577-73-2948
2	戸建て賃貸改修補助金はありますが、アパート、マンションの改修補助金が無いので、新設してほしい。	現在、市ではアパート等の民間賃貸住宅建設を促進するため、市内でアパート等を新たに新築する方へ補助金を交付しています。 今後、市内のアパート不足が深刻化することが予測されるため、令和8年度に向けて、新築だけでなく既存物件を取得して賃貸住宅として活用するための改修工事も補助対象とするよう、制度の拡充を検討しています。 一方、ご提案の「現に賃貸経営を行っている物件の改修」につきましては、本来、家賃収入の中から計画的に積み立てを行い対応すべきものと考えています。賃貸オーナーの資産価値を高める改修に公費を投入することは、公平性の観点から困難であるため、補助金の創設は想定していません。 市としましては、まずは不足する賃貸住宅の戸数を増やすことに重点を置いて施策を展開してまいりますので、ご理解ください。	建築住宅課 0577-73-0153
3	月1回配られる広報ひだをWebで見ているので毎月紙が無駄になっています。希望者だけの配布でもいいのではないのでしょうか？	広報ひだをWebでご覧いただき、ありがとうございます。 ご提案の希望制につきましては、配布をお願いしている行政区や自治会等での仕分け作業が大きな負担となるため、現時点では実施が困難な状況です。しかしながら、Web版の利用率の推移や他自治体の取組事例なども参考にしながら、より効率的で環境にも配慮した配布方法について、引き続き検討してまいります。	総合政策課 0577-62-8880

市政世論調査の詳細は市ホームページで公開中です。

問 総合政策課 ☎ 0577-62-8880





飛騨市学園構想の「これから」

◆未来を創る子どもたちに

私たちが生きている現在の社会は、ものすごいスピードで変化を続けており、1年先の未来でさえも予測することが難しくなっています。この変化の激しい社会を生き抜く子どもたちに、自分の可能性を信じ、志をもってしなやかに挑み続ける力を育みたい。人づくりへの思いを学校、保護者、地域住民で共有し、未来を創



目指す未来の創り手像

る子どもたちをみんなで育てたい。こうした願いから、2020年、飛騨市学園構想のプロジェクトがスタートしました。

◆飛騨市が目指す人づくり・まちづくり

まもなくお手元に届く新しいリーフレットには、市が目指している「未来の創り手」と、そうした人が育つ「創りたい地域」の姿をまとめています。

・「目指す未来の創り手像」

志を語り合い、しなやかに挑み続けることができる人が、民主的で持続可能な社会を創る。こうした人づくりへの思いを「自らの問いや願



創りたい地域像

をもつ」、「仲間と協働する」、「よりよく課題を解決する」の3つの姿から、子どもたちの学びを描いています。

・「創りたい地域像」

「みんなで育て、みんなが育つまち」で学び続けてこそ、子どもたちは未来の創り手になることができる。こうした人が育つ地域の姿を「学校」「家庭」「地域」「まち」の4つの領域に分けて描きました。

2026年4月。これまで6年間の歩みを礎に飛騨市学園構想の「これから」が始まります。皆さんと一緒に飛騨市が目指す人づくり、まちづくりを進めていきたいと考えています。

情報発信

ホームページ

Facebook



問 学校教育課 ☎ 0577-73-7494



イベントで伝えた「脱炭素」 ～暮らしの中の小さな積み重ね～

今年度、環境課では市が主催するさまざまなイベントに出展し、脱炭素の取組みを市民の皆さんにお伝えしてきました。

4月の古川祭、7月のボランティアフェス、9月のリユース広場、11月のそば祭りや公民館講座など、楽しみながら立ち寄れる場を活用し、脱炭素を身近なテーマとして発信しています。

「脱炭素は特別なことではなく、日々の暮らしの中の

小さな行動の積み重ねで進められるもの」ということをPRしてきましたが、今後も各種イベントを通じて市民の皆さんと一緒に、できることから取り組む脱炭素を推進してまいります。

イベントブースでは子ども向けのクイズや各種支援制度の解説も行うなど、子どもから大人まで楽しみながら生活に役立つ情報をこれからも提供し、脱炭素の取組みを市内へ広げていきます。

まずは昨年末に配布した「ひだゼロカーボンガイド」を参考に、自分にできる「小さな一歩」から始めてみませんか？

問 環境課 ☎ 0577-73-7482

こんにちは 市民病院です

足腰が弱くなる原因は
食事かもしれない？

私たちの身体は、食べたもので作られています。病院で栄養指導に携わっていると、次のような食事をされている方をよく目にします。

朝食：パンとコーヒー、昼食：うどんまたはラーメン、夕食：ごはん・魚または肉料理・野菜の煮物やサラダ。あと、3時のおやつに煎餅やクッキー。

「自分もこんな感じだ！」と思った方は要注意です。この1日の食事は、身体にとって大切な栄養素が不足しています。それはタンパク質です。

何もしていないでいると、高齢になるにつれて徐々に筋肉量は減っていきます。足腰を鍛えるために意識してウォーキングをしたり、身体を動かしたりしている方も多いと思います。それはとても良いことですが、ぜひそこにプラスして、食事でも意識していただきたいのです。

筋肉量を増やすためには材料である「タンパク質」が必要です。また、摂取エネルギーが不足した状態で運動をすると、逆に筋肉量が減ってしまう恐れもあります。

筋肉量が減ると何が起こるのでしょうか。

疲れやすくなる → 動きたくなくなる → さらに筋肉量が減る → 転びやすくなる → 骨折しやすくなる → 寝たきりのリスクが高まる。さらに、飲み込む力が弱くなり、むせやすくなる方もいらっしゃいます。

毎日の食事は、自分自身を守る予

防医療です。健康寿命を伸ばすために、なるべく毎食しっかりとタンパク質(肉・魚・卵・大豆製品)を摂りましょう。必要なタンパク質量の目安は大人の場合、体重×1g(運動習慣がある場合は×1.2～1.5g)です。ちなみに、前述した1日の食事のタンパク質量は約30～35gです。

飛騨市民病院では栄養指導を行っています。食事に不安や悩みがある方は、受診時に「栄養指導を受けたい」とお伝えください。美味しく食べて健康に！その道を一緒に考え、進んでいきましょう。

※腎臓病のある方はタンパク質制限が必要な場合があります。主治医にご相談ください

問 飛騨市民病院
☎ 0578-82-1150



そろそろ 終活

<その72> はじめませんか？

「そのうちに」が
リスクになる

令和6年4月から相続登記が義務化となりましたが、皆さん手続きはお済みでしょうか。

相続が発生してからの期限が3年あるために、うっかりするとこの制度のことは忘れてしまいがちです。

また、「人が亡くなった直後に相続の話をするのははばかれる」とか「自分から話を切り出すと財産を狙っているように思われる」といった気遣いから、ついつい「そのうちに」と考えがちです。

しかし、なかには相続人の数が多

く遺産分割協議がまとまらないとか、災害や病気でやむをえず手続きが遅れたなどの正当な事情があれば、もしかすると罰則の対象から外れることもあるかもしれませんが、忙しかった、忘れていたなどの理由では、正当と認められません。

もし3年以内に登記できない場合には、法律上『過料』を支払わなければならない可能性があります。

また、相続登記手続きを司法書士や行政書士などに依頼する場合「どのくらい費用がかかるのか」といった不安があり、躊躇しているといった人は、まずはどのくらい費用がかかるのかを依頼する司法書士などへ率直に尋ねてみてください。

そして、費用の節約のために自分で行うという方法もありますが、時間と労力への負担はある程度覚悟が必要です。

いずれにしても「そのうちに」と

先延ばしにせず、余裕をもって進めたいものです。特に令和6年以前に相続が発生している場合、残す期限はあと1年です。



相続・遺言など
終活に関するご相談

問 飛騨市終活支援センター
(飛騨市社会福祉協議会内)
☎ 0577-73-3214

2026年2月28日現在

ご結婚

山本 蒼大 古川町下野
酒井 はな香 古川町太江

お誕生

【古川町】
松木 柊朔 壱之町 耕平・瑞希

お悔み

【古川町】
野村 光明 栄二丁目 (66)
田中 治子 杉崎 (95)
井ノ下 実雄 本町 (77)
森下 宗四郎 上町 (89)
宇都宮 かよ子 上町 (85)
古里 知恵子 殿町 (95)
坂井 久夫 杉崎 (90)
布施 敏廣 下気多 (76)
岩佐 由三 壱之町 (93)
片町 正夫 増島町 (91)
小谷 廣司 栄一丁目 (77)
中田 恵美子 大野町 (83)
浅井 明莉 杉崎 (34)

【河合町】
竹林 次子 稲越 (87)

【宮川町】
道下 ナミ 牧戸 (101)

【神岡町】
草分 喜義 緑ヶ丘(緑ヶ丘) (90)
西 繁憲 船津 (74)
橋本 永一 野首 (91)
河上 勝宏 東雲 (57)
洞垣 ナツ 朝浦(八幡2) (99)
森腰 幸太郎 緑ヶ丘 (95)
住 進 船津(玉川2) (91)

前田 茂 数河 (95)
前田 幸恵 数河 (93)
小北 みさを 梨ヶ根 (90)
折戸 康久 石神 (75)
福井 美栄子 殿(殿本町下3) (58)
中田 茂男 朝浦(八幡2) (78)

ご寄附

【ウクライナ人道危機救援金】
味処古川協会 様(古川町) 金1万円

【令和6年9月能登半島大雨災害義援金】
味処古川協会 様(古川町) 金1万円

【飛騨市子育て支援事業へ】
ヒミスケ 代表 氷見 大輔 様(古川町) 金5千円

【飛騨市民病院へ】
匿名(神岡町) 金20万円
匿名(神岡町) 金3万円
内田 正二 様(神岡町) 氏名のみ公表

【杉崎公園魅力向上プロジェクトへ】
株式会社喜多村 様(愛知県) 金200万円

【関係人口と共創するまちづくりプロジェクトへ】
柏木工株式会社 様(高山市) 企業名のみ公表

【鉾都・神岡回廊構想推進事業へ】
株式会社EIRYO 様(東京都) 金100万円

【飛騨市がんばれ応援寄附金(ふるさと納税)】
全国の方からたくさんのご寄附をいただきました
2026年2月分 830件 金1,606万円

人口の動き (3月1日現在 住民登録人口)

男	女	計	世帯数
10,271	10,916	21,187	8,802
出生 3	転入 41		
死亡 47	転出 45		
高齢化率 40.63%			

町別人口内訳

古川町	13,181
河合町	745
宮川町	508
神岡町	6,753

消防の状況 (2月28日現在)

本年累計	火災	救急
飛騨市	1	206
その他 (管外出動)	0	0
前月比	0	+81

交通事故の状況 (2月28日現在)

	人身交通事故			物損 交通事故
	件数	死者	傷者	
本年累計	3	0	3	96
昨年同期	2	0	3	145
増減	+1	0	0	-49

商売繁盛と家内安全を願い 「第69回飛騨神岡初金毘羅宵祭」開催



商売繁盛と家内安全を願う「飛騨神岡初金毘羅宵祭」が神岡町市街地で開催されました。金毘羅堂のある洞雲寺を目指して町を練り歩く行事で、行列には地元事業者や有志団体、同級会など13社中が参加。それぞれ趣向を凝らした山車や神輿が列をなしました。道中では、ふるまい酒の提供や各社中によるパフォーマンス、お菓子などを配る「まきもの」が行われ、沿道には多くの笑顔が広がりました。



飛騨神岡短歌コンクール 「女神へ贈るラブレター」表彰式も同日開催



第8回飛騨神岡短歌コンクール「女神へ贈るラブレター」の表彰式が開催されました。全国から940人、3,036首の応募があり、北海道釧路江南高校3年の藤浪あいさんが「好きです、と機内モードにして送る 飛び立てそうな衝動のまま」を詠み、コンクール初の3年連続最優秀賞を受賞しました。



2/1 飛騨吉城特別支援学校が作業製品販売会「でこなるマルシェ!」を開催

飛騨吉城特別支援学校高等部の生徒が作業学習の授業で製作した手工芸製品や窯業製品を販売する「でこなるマルシェ!」が国府町のラクール飛騨高山店で開かれ、生徒らが元気に売り場に立ちました。



2/3 ドローンを使った災害時の物資輸送訓練を行いました

災害によって孤立地域が発生した場合にドローンを使って支援物資の輸送などを行うための「孤立地域支援訓練」が行われました。(株)ドローンコンシェルジュと市が共催し、住民の方などが参加しました。



2/6 吉城高が地域の課題を発見し解決する「探究報告会」を開催

吉城高校が今年度の探究活動を振り返る報告会を開催。「市内のフードロス」をはじめ、理数科では「バナナは本当に滑るのか」といったユニークなテーマまでさまざまな探究活動が発表されました。



2/6 古川小の6年生が「古川やんちゃ学」の成果を発表

古川小学校が行うふるさと学習「古川やんちゃ学」の一環として、同校の6年生児童が飛騨古川まつり会館などで、これまでの取り組みや学びの成果について発表しました。



2/6 河合小学校の児童が卒業証書に使われる和紙の紙すきを行いました

河合小学校の6年生児童が、自身の卒業証書に使われる山中和紙の紙すきを行いました。山中和紙作りの職人である柏木昭人さんから指導を受け、1人2枚ずついいいに和紙をすきました。



2/10 さくら保育園の年長園児が年中園児にお茶を点てました

年間を通じて茶道や礼儀作法を学んできた古川町のさくら保育園の年長園児が、これまでの学びの成果を披露しようと、年中園児に抹茶を点てておもてなしをするお茶会「おちゃっこ」が行われました。



2/12 **神岡町の方美智子さん
100歳万歳！** **特レポ**

神岡町の方美智子さんが100歳(大正15年2月10日生まれ)を迎えられ、佐藤地域包括ケア課長がお祝いの花束等を手渡しました。「何でも美味しく食べれます。息子や嫁のおかげ」と笑顔で話されました。



2/13 **「飛驒清流みやがわ鮎」を守り育てる
「河川維持流量検討会」**

宮川の維持放流量抑制期間の河川環境を宮川下流漁協組合が調査を行い、その結果を地元有志や漁協関係者、関係機関等により確認しました。この会は昨年度から5年間行われ、今回が2回目です。



2/13 **飛驒市家庭教育支援チーム「ハルジオン」が文部科学大臣表彰を報告**

文部科学省が進める「家庭教育支援チーム」事業の登録団体として幅広く活動する「ハルジオン～不登校や不登校経験者の子と親と一緒に歩む会～」の取り組みが文部科学大臣表彰を受賞しました。



2/14 **「学校作業療法室」ってなんだろう！
飛驒市ウェルビーイングフォーラム開催**

「学校作業療法室」をテーマに、障がいの有無を問わず、作業療法士が学校現場で関わる市独自の仕組みや実践の報告がありました。この仕組みの全国展開をめざし、他自治体との協働宣言がされました。



2/16 **「飛驒市障がい者就労施設応援企業」の認定書を交付しました**

障がいのある人が生き生きと働ける市内5つの障がい者就労施設へ、業務発注や物品購入で支援していただく企業や団体の皆さんに「令和7年度飛驒市障がい者就労施設応援企業」認定書を交付しました。



2/16 **飛驒市を舞台にした日台合作映画
『星の音』の制作発表記者会見**

飛驒市と台湾・基隆市を舞台に撮影される日台合作映画『星の音』の制作発表記者会見が開かれ、ヒロインを演じる女優の田牧そらさんや台湾出身の俳優・王碩瀚さんらが出席しました。



市民ライターがまちの話題をお届け!! /
広報ひだまち特派員レポート
(特派員：水樹 華)



2/19 古川中3年生がマイプロの取り組みや楽しさを2年生に伝えました

自分の好きなことや得意なことを深めて地域貢献につなげる実践活動「古川中学校 マイ・プロジェクト」に3年生が今年度取り組んだ活動の概要や成果を2年生や地域の協力者の皆さんに紹介しました。



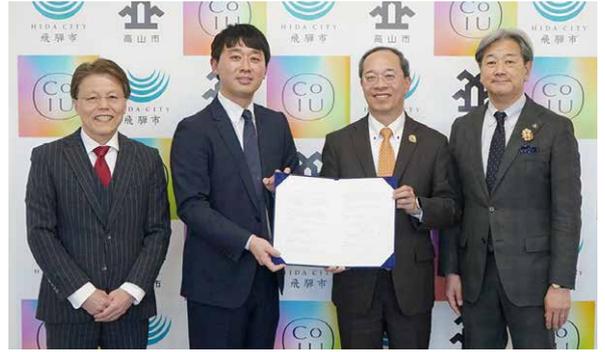
2/19 古川中1年の井上佳音さんがバッハコンクールで「金賞」受賞！

バッハやバロック期の楽曲を演奏する腕を競う国内最大級のピアノコンクール「第16回日本バッハコンクール」の中学C部門で、古川中1年の井上佳音さんがトップの「金賞」を受賞しました。



2/22 「女性」の心肺蘇生人形を使った救命講習を実施しました

飛騨市消防団古川方面隊女性分団の応急手当普及員の皆さんが「女性」を模した心肺蘇生人形を製作し、この人形を使ってAEDの操作や胸骨圧迫などを行う講習会が開かれました。



2/19 学校法人CoIUが飛騨市、高山市と連携協力協定を締結

4月開学予定のコア・イノベーション大学(CoIU)を設置する学校法人CoIUと飛騨市・高山市が連携協定を締結。地域を学びの場とした実践型教育を通じ、人材育成と地域課題解決を進めます。



2/21・22 飛騨市×ハナマルキ×工藤シェフ！液体塩こうじで郷土食材を堪能

市とハナマルキ、食の大使・工藤英良シェフがコラボした料理教室を開催。市民約40名が液体塩こうじを活用し、飛騨地鶏の海南鶏飯など3品に挑戦。「素材の旨みが引き立ち美味しい」と笑顔が溢れました。



2/26 「古西わくわく探究フェス」で古川西小の児童が成果を発表

古川西小学校の児童らがそれぞれテーマを決め、1年間をかけて学びを深めてきた探究学習の成果を発表する「古西わくわく探究フェス」が開かれ、スライドや動画、寸劇を交えての発表がありました。

「ありがとう」を、音楽にのせて
医療・介護応援プロジェクト
「CHOTTOKIITE!」の軌跡とやさしい時間

市では、医療・介護の人手不足により施設の廃止や病床削減が続く厳しい状況にあります。そんな中、現場を支えているのはスタッフが利用者と築く信頼関係、そしてその根底にある「やさしさ」です。市は、この目に見えない“現場の想い”を可視化し、音楽と映像でつなぎ届ける「CHOTTOKIITE!」プロジェクトを2年かけて行ってきました。

プロジェクトへの想い

医療・介護の現場で働く皆さんの優しさと、不安に寄り添う姿勢に深く心を打たれました。その存在があるからこそ、地域の安心な暮らしが支えられていると実感しています。その想いと尊さを多くの方に届けられるようプロジェクトを立ち上げました。



地域包括ケア課
いだしなほひろ

井谷直裕さん

現場の「音」が紡ぐ、癒やしの旋律。

飛騨市出身の音楽家・谷澤智文さんが、医療・介護現場の「音」を収集。感謝の声や足音、環境音など現場の息遣いを、温かなギターの旋律と融合させました。現場に溢れる優しさや体温を、心地よく包み込む楽曲に紡いでいます。



映像作品「やさしさってなんだろう」 — 現場の息づかいを映像で伝える。

現場の音と映像を融合したドキュメンタリー映像を制作。スタッフの表情や利用者の笑顔、細やかなやりとりなど、日常に宿る「やさしさ」の断片を丁寧に描写。重なる音色とともに、温かな現実の営みを鮮やかに描き出しています。

みんなの「やさしい瞬間」が、映像化。

楽曲・動画の完成を記念し、日常の“やさしい瞬間”を募る写真キャンペーンを実施。市民の皆さんから届いた心温まる写真の数々を、谷澤さんの楽曲に乗せて公開しました。



谷澤智文さんからのメッセージ

実際に現場を見て、医療・介護は“究極のやさしさ”ともいえる美しい仕事だと改めて感じました。

おこがましいかもしれませんが、制作した曲が現場で頑張る皆さんの癒しになればうれしいです。また、医療・介護に関わっていない方々にもこの仕事の価値を知るひとつのきっかけになればと願っています。



特設サイト

